

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



工事の実施状況

県道上久我栃木線の付替工事は、現在7号橋上部工工事を実施しています。

この橋は、予め工場で製作した箱桁部分（前号に写真が載っています）を8分割して現場に搬入し、現地で3ブロックに組み上げ、360t吊の大型トラッククレーンで吊り上げて架設しました。

現在は、道路橋としての機能を備えるための工事を行っており、7月頃に完成する予定です。



現在の状況



解禁情報

思川開発事業に係る、小倉川漁業協同組合と黒川漁業協同組合の今年度の釣り情報についてお知らせいたします。

今年も放射性物質のモニタリング検査が行われ、安全性が確認されたことから、黒川漁協については3月1日(金)に、小倉川漁協については3月3日(日)に、それぞれ予定どおり溪流釣り(イワナ、ヤマメ)が解禁されました。アユ釣りについては、小倉川漁協では6月9日(日)に、黒川漁協では6月16日(日)に解禁が予定されており、4月から放流が行われております。



イメージ

昨年、小倉川漁協管内の引田地区（大芦川）や粕尾地区（思川）まで天然遡上のアユが見られ、非常に盛り上がりました。今年は例年よりも早く、那珂川や鬼怒川で天然アユの遡上を確認されているようで、思川や大芦川でも大いに期待されます。また、黒川漁協管内は、市街地でも尺アユの釣れる全国でも類のない河川として有名です。

 **環境保全の取組**

所久保環境保全地は、工事等により改変を受けた動植物の生息・育成環境の創出を目的として造成した人工の湿地(池)で、昨年4月に通水を開始しました。

昨年は通水早々にヤマアカガエルの卵塊が確認され、季節が進むにつれて周辺には植物が徐々に繁茂しはじめ、草花を目当てに多くの昆虫が見られました。

今年も3月の中旬頃からヤマアカガエルの卵塊が確認され、その数も徐々に増えており、保全地の新しい1年がスタートしました。これから季節が進むにつれて多くの動植物が確認されることと思います。今年はどうな生き物がここを利用するのか、今後の推移が楽しみな状況です。



人 事 異 動 (平成25年4月1日付け)

転 出		転 入	
総務課長	花田 俊幸 (本社)	総務課長	伊藤 保 (霞ヶ浦用水管理所)
調査設計課	鶴飼 宣行 ((財)ダム技術センター)	調査設計課	金山 明広 (川上ダム建設所)
調査設計課	宮成 誠裕 (本社)	調査設計課	竹内 祐治 (総合技術センター)
工務課	三上 修 (利根川下流総合管理所)	工務課	大熊 清和 (徳山ダム建設所)
工務課	石渡 俊弘 (荒川ダム総合管理所)	工務課	若林 裕志 (関東地方整備局)

**編集
後記**

八十八夜も過ぎ、5月10日は旧暦の4月1日で、暦の上では夏が始まります。童謡「茶摘」にも 夏も近づく八十八夜 とありますね。
男体山も夏色になってきましたが、奥に見える白根山はまだ真っ白です。まだまだ寒暖の差が激しいようで、体調管理に気を配って過ごしましょう。

編集・発行所



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289)85-1110 Fax (0289)85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omogawa/index.html>